

仙台三高演劇部通信 12月号

9月	文化祭公演
10月	若林・太白・宮城野地区大会出場
11月	宮城県中央大会出場

◆おはようございます、仙台三高演劇部です。3ヶ月ほど更新が滞ってしまいました。今月からまた毎月更新していこうと思います。今回のお相手は、和菓子大好き、ぽんすけです。

◆大会報告

今年、3人で舞台に立ちました。1年生の六花とフータは初めての大舞台。しかし、本当に1年生か?と疑いたくなるくらい堂々としていて、ぽんすけびっくりです。本番前は逆にぽんすけのほうが落ち着きがなかったような…。2人の今後の活躍に期待大です。

音響と照明は音楽部さんにお手伝いしてもらいました。もうタイミングバッチリで完璧すぎて、控えめに言って天才です。ありがとうございました。あ、音楽部さん関連でもう一つ。今回音響・照明を手伝ってくれたバンドのメンバー皆さんに、オリジナルBGMを1曲、作っていただきました!すごくないですか?!雰囲気ベストマッチすぎて、初めて役者のセリフと合わせたとき、鳥肌が立って、ぽんすけは後ろの方で涙を必死にこらえてました。リハのときとか、ホールのスピーカーで大音量で、超うまい立花の演技と合わさったときも六花の背後で涙を必死にこらえてました。(私、呆然と話を聞いていなければいけないシーンだったんですよ...) 本当に本当にありがとうございました。音楽部さん様々です...!

さて、今年の結果を報告します。結果は、地区大会で最優秀賞を、県大会では優良賞をいただきました。本当に沢山の皆さんに支えていただき、応援していただき、こうして県大会まで進めたこと、無事上演を終えることができたこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ぽんすけ自身、去年からずっとずっと目標にしてきた東北大会出場を果たせず、本当に本当に悔しいです。自分の力不足を痛感しました。でもやりきったかなという感じです。でもや

っぱり目標が果たせなかったことは悔しい。すごく矛盾した気持ちがぼんすけの心の中で渦巻いています。この思い後輩たちに託します。

◆審査員さんの講評を受けて

広瀬文化センター攻略は難しかった…。声が大きすぎてセリフが明瞭に聞こえない部分が目立ってしまったようです。とても悔しい。

セリフが届かずに、私達の思い、作品を通して伝えたいことは観客に届きません。それが一番悔しいです。賞を取ることや、上位大会に進むことももちろん目標にしてきたし大切な思いだけど、それ以上に私が大切にしていたことなので。私達なりにめっちゃくちゃ気をつけたつもりだったのですが、客観的に見るとまだまだだったようです。悔しい。

現在の仙台三高演劇部には、もともとの声質的に声が通りやすい人が多いように感じます。私と六花が特に。ズバリ、現役部員の3分の2が当てはまりますね。これからの練習で私達に必要なになってくるのは、もともと持っている声の特性を掴んだ上で発声練習をすること。声を遠くに飛ばすことを意識するのは、演劇をする上で基本中の基本ですが、どれくらい意識するのか、それが重要なのかなど。当たり前のことかもしれませんが、今回その重要さを痛感しました。私と六花は特に声を”セーブする”ことを覚えなくてはならないなあと思いました。そして部員全員に当てはまるのですが、声をもっとたくさん使い分けられるようになりたい…。大きさも高さも声色ももっと自由自在に操りたい。私的に、これは人数が少ないからこそ特化する必要性を強く感じています。

あ、入部を考えている方で自分大きい声出すの苦手…という方もいると思いますが、心配ご無用、フータも最初声を張るの苦手そうでしたが、今はめっちゃ声出るようになりました。（唐突すぎる勧誘笑）

◆はい。今月も長々と話してしまいました。私なりに言葉にしたかったことをなので、ここに書かせていただきました。

大会に向けての怒涛の毎日は、私の青春の1ページになりました。いや1ページどこじゃないかもしれない…笑。もしかしたら半分以上を締めているかも。

これからもがんばります！！演劇部、ファイトー！

次回の担当は六花です。お楽しみに～